



平成 25 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 大 幸 薬 品 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 柴 田 高
(コード番号：4574 東証第一部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 吉 川 友 貞
(TEL. 06-6382-1135)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 5 月 14 日に公表した業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

平成 25 年 3 月期連結会計年度（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益（円）
前回発表予想（A）	6,500	550	530	500	38.58
今回発表予想（B）	7,100	850	900	730	57.28
増減額（B－A）	600	300	370	230	
増減率（％）	9.2	54.6	69.8	45.9	
（ご参考）前期実績	6,683	515	558	482	37.23

修正の理由

（売上高）

当連結会計年度（以下、「当期」）の売上高は、感染管理事業が当初の計画を大幅に上回る見通しから、前回予想比 600 百万円増（9.2%増）となる 7,100 百万円を予想しております。

秋口以降、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生や季節性インフルエンザの流行開始等を背景に、感染症に対する衛生対策意識が高まる中、当社の感染管理事業は、TV コマーシャル放映や早期に実施した営業施策等が奏功し、最需要期の第 3 四半期（10 月から 12 月）において一般用製品を中心に大幅に伸長致しました。また、業務用製品の出荷もゲル剤や『クレベリン発生機』等を中心に堅調であることから、当期の感染管理事業の売上高は、前回予想比 791 百万円増（62.1%増）となる 2,064 百万円を見込んでおります。

一方、医薬品事業につきましては、海外向けは、懸念された日中関係による深刻な影響も見られず、主力の中国・香港市場を中心に計画を上回るものの、売上高の大半を占める国内向けが、止瀉薬市場の停滞を背景に、計画を下回る見通しであります。これにより、当期の医薬品事業の売上高は、前回予想比 184 百万円減（3.6%減）となる 5,016 百万円を見込んでおります。

なお、今回発表予想の売上高におけるセグメント別内訳は以下の通りであります。

セグメント別連結売上高(平成 25 年 3 月期連結会計年度)

(単位：百万円)

	医薬品事業	感染管理事業	その他事業	売上高合計
前回発表予想 (A)	5,201	1,273	25	6,500
今回発表予想 (B)	5,016	2,064	19	7,100
増減額 (B - A)	△184	791	△5	600
増減率 (%)	△3.6	62.1	△23.0	9.2
(ご参考) 前期実績	5,085	1,576	21	6,683

(損益面)

感染管理事業の牽引により、売上総利益も当初の計画を上回る見通しであります。また、販売費及び一般管理費は、当初の計画に比して増加(販促費の追加使用や賞与引当金等の人件費の増加等)を予定するものの、売上高に対する費用比率は低下を見込んでおります。これらにより、当期の営業利益は、前回予想比300百万円増(54.6%増)となる850百万円を予想し、経常利益も前回予想比370百万円増(69.8%増)となる900百万円を予想しております。また、法人税等及び法人税等調整額の増加を見込むものの、当期純利益は前回予想比230百万円増(45.9%増)となる730百万円を予想しております。ただし、第3四半期をピークに第4四半期は売上高が減少に向かうことに加え、期末に向けて販売費及び一般管理費の増加も予定することから、第4四半期は損失計上を見込んでおります。

なお、当期の配当予想につきましては、前回予想からの修正はありません。

上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上